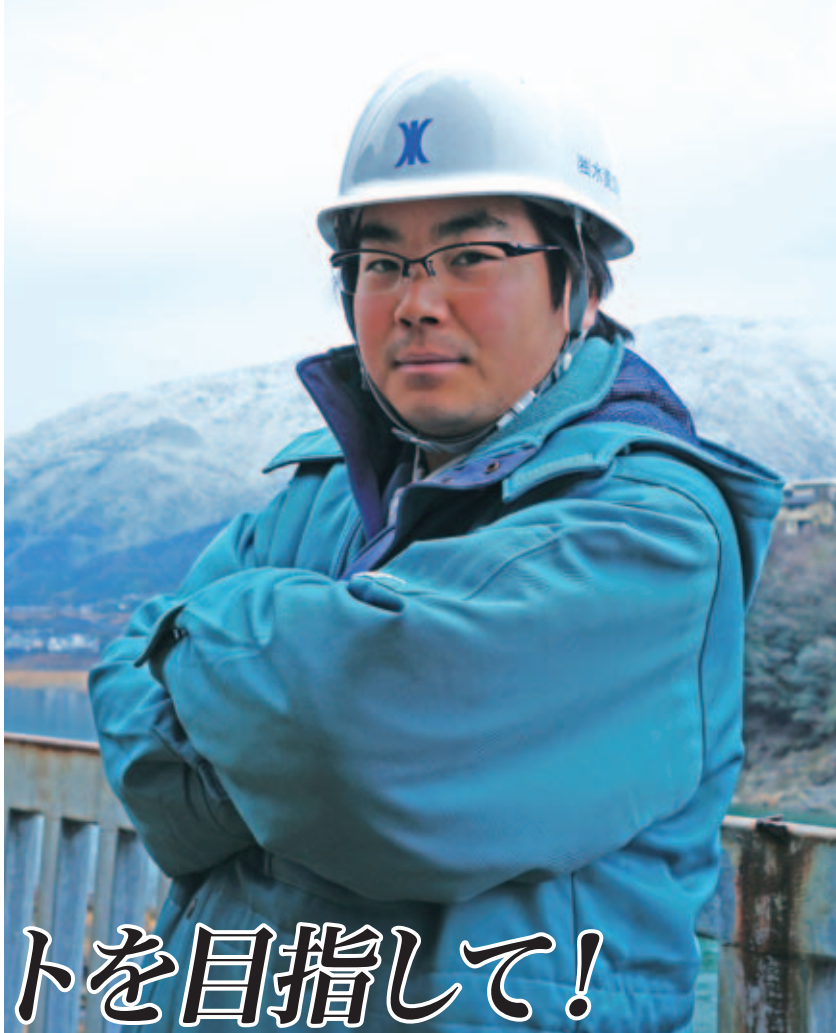


「ささえる力 Power」は、情熱と誇りをもって働く「人」にスポットをあて水資源機構の仕事を紹介するコーナーです。

# 制水

## ダム管理の スペシャリストを目指して!



四国地方は四国山脈を境に北側は水不足に、南側は大規模な洪水にしばしば悩まされてきた。池田ダムは早明浦ダム等と連携しつつ、洪水調節や利水の供給を行っているが、その管理はととてもデリケート。管理の実情を聴きに若手職員を訪ねた。

### Profile

池田総合管理所 第二管理課

**鷺尾 盛士** *Seiji Washio*

平成18年4月水資源機構入社。草木ダムで管理業務全般を経験した後、川上ダムでは環境課で環境調査等を担当。平成24年4月より現職。

### 池田ダムの繊細な配水管理

池田ダムのあるあたりは、まだ川幅も広く、ダムの高さに比べると、なおのことダムの幅が大きく見える。

訪ねたときはゲートが1門開いており、迫力ある放流の様子を見ることができた。2月に訪れたが、たまたま未明からの雪で周囲はきれいな雪景色だった。

「同じ降水量でも、雪と雨では川への流入量が変わります。そこも考えて操作します。」

第一印象はととても柔和な鷺尾だが、インタビューを始めるとなちまち熱く語り始めた。池田ダムの上流には四国最大の早明浦ダムがあるが、何度となく渇水を経験している。このため早明浦ダムの水を、一滴でも無駄なく活用することが池田ダムを操作する上での重要な役割だ。しかも早明浦ダムの水が池田ダムに届くまでには最長で12時間かかる。

「この時間差を考え、さらには降水量や吉野川本川の流量の増減もふまえながら、当日と翌日の利用予定水量を加



池田ダムは吉野川の河口から約80kmの地点、徳島県三好市にある多目的ダム。約40年にわたり洪水調節、利水、発電を担ってきた。また総合管理所として、早明浦、新宮、富郷の各ダムと高知分水を管理している。



味して配水計画を考えなければなりません。」

さらに池田ダムで許される通常時の水位差はわずかに60cm。

「本当にすごい技術だと思います。」

長年にわたる豊富な管理データの蓄積が、精度の高い予測を支えている。しかし最後に決断して指示を出すのは池田ダムで管理を行う職員の仕事。そしてそれができるようになるには、やはり経験が重要だという。

## 深夜の管理は緊張感の連続

月に数回夜の管理を預かる。日中は先輩たちがいるから何かあってもすぐにアドバイスがもらえる。でも深夜はたった一人だ。

「はじめ一人で夜を過ごしたときはとっても怖かったです。」と正直に話してくれた。もちろん、いざというときには仲間が駆けつけてくれる仕組みにはなっている。

「でも誰もがこれを経験して一人前になってきたんです。」そして「一人きりでダムを守るという緊張感が、自分を鍛えてくれている。」とも感じている。自分に任せてもらっていることに喜びもある。

夜が明け、次の職員へバトンタッチする。一夜を問題なくやり遂げて、次の当番へ課題のない状態で引継ができた時が、安堵と同時に最大の達成感を感じる瞬間だ。

「何も課題がないということ。どれほど難しい管理でも問題なく運用をしているということに誇りを感じるとともに、少しでもわかっていただけたらうれしい。」と、ようやくもとの

柔和な表情で語ってくれた。

## ダム管理を極めたい

ダムではそのほかにも、ダム補修工事の監督や、観測業務といった様々な仕事も担当している。また池田ダムは流木を集めて薪やチップにして、地元の皆さんに無料配布している。「毎回、あっという間になくなってしまいます。」というほど評判がいい。環境学習会も開催している。環境業務での経験を持つ鷺尾への期待は大きい。入社して8年目。これからどんな仕事がしてみたいか尋ねると、「ダム管理を極めたいです。」と明快に答えてくれた。



大阪出身の鷺尾さん。ワッシーの愛称で親しまれている。本当は野球が大好き。好きな球団は？「もちろん阪神です。」

